

小城市立岩松小学校
学校だより 第2号



岩松小だより

令和7年4月11日発行
発行者 校長 真子靖弘

始業式の校長講話

4/7(月)、**始業式**を実施し、その中で、**校長講話**も行いました。今回の講話のテーマは「**『見通しをもつ』とは、どういうことなのか？**」でした。

今年度も学校教育目標の中にキーワードとして「**自律**」を掲げています。自律とは「自分で考え、判断・決定し、行動すること」です。そのためには「**見通しをもつ**」力は欠かせません。子どもたちには、昨年度の修了式の講話でも触れた **AAR サイクル**を思い出させながら話をしました。

〈AAR サイクル〉

- ・自己を成長させる手段の一つ。
- ・「**見通し**－**行動**－**振り返り**」の3つのサイクルを自分自身で回していくことで、自身の長期的な改善・更新を進めていくという考え方。

始業式である4/7(月)は、**AAR サイクル**で言えば「**見通し**」をもつ時にあたります。1年間、1学期、1ヶ月など、様々な期間や内容が考えられますが、各自が設定するゴールを意識し、見通しをもって過ごしてほしいと伝えました。



〈校長講話の要旨〉

なぜ、見通しをもつとよいのか

- ① あわてたり、困ったりすることが少なくなる。
- ② 自分で考え、行動することで、自信がつく。
- ③ 目標を達成しやすくなる。

見通しをもつ3つのコツ

- ① **ゴールを考える**…「何をしたいのか？」
「どうなりたいのか？」を最初に考える。
- ② **順番を考える**…ゴールにたどり着くために、どんな順番で行動すればよいかを考える。
- ③ **困ることを考える**…ゴールにたどり着く途中で困るかもしれないことを予想し、対策も考える。



子どもの問いと感想(私の回答を含め)を紹介します。

見通しをもって1年間を過ごしていきたいです。【6年】

→ゴールから逆算して「見通し」をもってみてください。

私は困ることまでは考えていなかったので考えたいです。

もし、困ることがあったら、どうすればよいですか？【4年】

→自分で解決策を思いつけなかったら、いろんな人に相談してアイデアをもらおうとよいです。



赴任式

児童代表として、6年生の**原口陽向**さんが**歓迎の言葉**を担当しました。冒頭、歓迎の気持ちと岩松小のよさの紹介から語ってくれました。赴任された先生方へ岩松小のよさや期待が伝わる歓迎の言葉でした。

〈歓迎の言葉の一部〉

希望に胸をふくらませ、新学期が始まりました。昨年度末には、とてもお世話になった先生方とお別れをし、さみしい思っていました。今日新しく7名の先生方をお迎えすることができ、嬉しい気持ちがかみ上げてきました。ようこそ、岩松小学校へ。この岩松小学校は、春の桜、初夏のホタル、祇園川の清らかな流れ、秋の紅葉、冬の雪と、山々もその彩りを変える、自然に囲まれた学校です…

赴任された先生方からも一言ずつ、子どもたちへ言葉をもらいました。先生方のワクワク感が伝わってくる内容でした。



〈赴任した先生方からの言葉〉

江頭教頭先生…お散歩ワンちゃんと呼ばれていました。岩松小でもウロウロします。たくさん話しましょう。

廣末先生…また一緒に勉強できることが楽しみです。

片瀬先生…これからの毎日がとても楽しみです。

今村先生…勉強・遊び・友達を大切にしよう。

全力で一緒に頑張っていきましょう。

土井先生…みんなに会えて嬉しいです。元気のよいあいさつありがとう。みんなの心と体の健康を守ります。

林野先生…明るく元気に1年間を過ごしましょう。

木下先生…「木下先生!」といつでも声をかけて下さい。

子どもたちと先生方のやる気と期待を感じる赴任式でした。面白い**化学変化**が起きる予感がします。

